

図書館利用者と貫井図書館長との懇談会

- 1 日時 平成30年11月 2 日（金） 13時30分～15時
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 19名 内ガイドヘルパー 2 名
図書館 4 名
(貫井図書館長、館長代理、総括支援員、スタッフ)
- 4 テーマ 「これからの貫井図書館に期待するサービスとは」
- 5 配付資料 (1) 練馬区立図書館ビジョン（概要版）
(2) 貫井図書館29年度下半期～30年度上半期実施事業概況
(3) 貫井図書館だより
(4) サンツ中村橋商店街お店紹介展示まとめ冊子
- 5 次第 (1) 貫井図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 図書館概要説明
(4) 懇談
(5) 貫井図書館長挨拶

図書館利用者と貫井図書館長との懇談会 会議録

1 貫井図書館長挨拶

本日は「これからの貫井図書館に期待するサービスとは」というテーマで懇談会を開きたいと思っております。懇談会のご意見に対する回答は、後日ホームページにて回答いたします。

2 図書館職員紹介

館長、館長代理、学校支援統括支援員、記録担当スタッフ

3 図書館概要説明（図書館長より）

最近の貫井図書館の事業についてご説明させていただきます。配布資料の「練馬区図書館ビジョン」をご覧ください。こちらを基本に、この4つの柱に沿って、運営をしています。貫井図書館だよりや美術パスファインダーの発行などの情報発信、地域情報発信として商店街との連携でのお店紹介展示、中村橋包括支援センターとの連携による高齢者向け事業、貫井子ども家庭支援センターとの連携による子育て支援の事業などを行ってまいりました。特に託児サービスは、練馬区内の図書館で最初に取り組みまして、大変好評を得ています。その他、赤ちゃん向けおはなし会の回数増、昨年からは、図書館を使った調べる学習コンクールにも取り組みまして、子供達への読書支援、探求型学習への支援を行っています。

次に、図書館資料の活用として、和装資料のデジタル化を行い、また美術関連資料については、美術館と連携して事業を展開しています。高齢者化社会を迎え、地域の高齢者へ、敬老館や老人ホームへの出張などアウトリーチ活動を行うと共に、生涯学習活動としての高齢者の方々への読書支援を行っています。イベントを行って、いろいろな方に図書館を使ってもらい、活用してもらおうと努力しておりまして、バリアフリー映画会開催など、すそ野を広げる活動を行っています。

最近では、来館者に高齢者が増えている実感があります。スタッフ全員で認知症サポーター養成講座を受講し、超高齢化社会の到来を前に、地域の施設として何ができるかと模索しています。

また、去年から導入した図書消毒機は大変好評で、1日40回ほど、土日には90回、100回と利用されています。

このような状況の中で、29年度は、年間来館者のべ76万人、貸出21万6千人、対面朗読1,131回を実施いたしました。たくさんの皆様のご協力があったのこの数字だと思います。感謝をいたします。

以上、現在の取り組みを、練馬区図書館ビジョンに沿ってご紹介しました。

5. 参加者自己紹介

図書館 では、右回りで、お一人ずつどのようなお立場かをお話ください。

利用者 貫井子ども家庭支援センターでございます。3歳までの子供達が来て、一時預かりもしています。子育てに関する相談もしています。この懇談会の場で「わ

くわく絵本」という会の方と知り合って、毎月一回センターへよみきかせに来ていただいています。高齢者相談センターの方とも知り合うことができ、折り紙を教えに来ていただいています。貫井図書館が地域のつながりの場となっている。子どもに関する仕事の方たちとのグループワークなど、対話が出来ればいいと考えています。

利用者 文庫の活動をしています。

利用者 湯ちゃぶの会という団体です。4年前から高齢者向けのイベントを月1回しています。現在は中村橋区民センターのケアカフェで活動をしています。年に1回貫井図書館さんと音読をするイベントをしています。

利用者 「利用者と館長との会」ということで、珍しいなと思い、空席がありましたので入りました。私から発信することはありません。

利用者 「貫井ブックスタートの会」です。区からの絵本を2冊乳幼児のおかあさま方に手渡ししております。月に4回、開催しておりまして、本の紹介や手あそびなども行っています。図書館の方々にはお世話になっております。

利用者 「ブックスタートの会」で、ボランティアをしています。図書館の利用のスタートのような役目をしています。

利用者 「フェルトブック」というグループで、この部屋をお借りして布の絵本を作っています。作ったものを図書館におさめさせていただきます。いろいろ便宜を図っていただいています。

利用者 同じく「フェルトブック」で、15年ぐらい活動させていただいています。自分たちが作ったものを図書館にいらしていただけるということが楽しみです。

利用者 「ねりま地域文庫読書連絡サークル」です。子供の家庭文庫、児童館の文庫などですが、こちらの視聴覚室で打ち合わせをしています。家庭文庫へ、図書館から出張おはなし会も来ていただいています。来年は文庫連絡会の設立50周年となりますので、来年の11月から12月に記念イベントを図書館で開催を考えています。

利用者 以前開放図書館で活動をしていましたが、今はイングルサイドという読書の団体にいます。

利用者 現在障害者施設で、ボランティアをしている者です。稲荷山図書館と連携して、よみきかせをしていただいたのを垣間見させていただきました。私が学生のと

きは、受験で席もとあいという図書館でしたが、今は違うなという印象です。障害を持った弟がいますので、障害者へのよみきかせも考えていて、こういう館長さんとのお話の中で、現状を勉強させていただきに参加しました。

利用者 「わくわく絵本」という団体に所属させていただいています。できて3年の団体で、子供や高齢者向けに、10数か所へよみきかせに行っております。私は学童クラブや保育園で本を読んでいます。本の選択のため、図書館の人にお世話になっています。

利用者 「わくわく絵本」です。貫井図書館にはお世話になっております。現在12か所の高齢者や子供たちの施設によみきかせにしています。

利用者 「音訳はあと」です。個人的には希望はありません。お子さんたちへの読書の運動が私の子供達の時代とは違ってきています。いい方向になるとよいと思います。私個人の感想ですが、受付の対応が一時よりとてもよくなったと感じます。やわらかくなったと思う。

利用者 「音訳はあと」です。私はそうは思わない。カウンターの方は、自分の仕事ばかりで、障害者に対して、困っているところを見ても手を差し伸べなかったことがある。私たちは音声訳をしている団体です。練馬区の図書館ビジョンのこの4つの中に障害者が入っていないです。練馬区の障害者に関係することは、貫井図書館には預けられていない。しかし、貫井図書館の対面朗読室は、ベルリンのように、これも光が丘が管轄です。いちいち光が丘に言わないと何も動かない。しかし貫井ではいろいろ対応していただいているので、頭があがりません。

利用者 「音訳はあと」に障害者の立場で関わらせていただいています。貫井図書館はそういう形で利用しているが、対面朗読は利用していません。実際には、サピエ図書館から直接受け取っています。図書館は必要ですので、利用しています。以前私は、練馬区のカードが失効してしまって、カウンターでの登録で、障害者登録に必要性を聞かれず、登録が二度手間になってしまったことがありました。そういうことを受付のカウンターの方が知らないのかなと、思います。光が丘図書館が担当でも、来る場所はいろいろな図書館へ行くので、対応をきちっとやって欲しいと思います。

利用者 ガイドヘルパーとして本日はここへ来ました。

利用者 対面朗読を水曜、土曜、日曜と受けています。サピエ図書館も利用しているが、対面朗読で直接人と会って、お話できることは頭の散歩としてよい。私は盲ろう者の通信ということに関心があります。

利用者 ろうの方は図書館も利用しますが、あまり本を読みません。視覚障害の方の方が圧倒的に本を読みます。

利用者 ガイドヘルパーをしています。対面朗読に視覚障害者をお連れしたり、こちらのサークル活動にお迎えにうかがったり、一区民として仕事帰りに貫井図書館に寄ったり、利用させていただいています。その中で、2点ほど、あったらいいなと思うものがあります。それは、本を棚に返しに行くときに荷物を持っていくと、使っていた席が他の人がすわってしまって、また席を探さなければならないので、そういうときにスーパーで「レジ袋いりません」というような、「この席使用中です」というカードのようなものがあるとうれしい。それから、公衆電話のところで携帯電話で通話していたら、リサイクルコーナーで本を整理するスタッフに声が大きいと注意されたことがあります。

図書館 ここの廊下は声が通りますので、難しいところですが、スタッフの声のかけ方に注意いたします。席のカードについては検討させていただきます

利用者 区民センターの中の中村橋地域包括支援センターでございます。高齢者を地域で支え合うということをめざして、いろいろなご相談の窓口をしております。こちらでは、一般向け行事としてこちらの視聴覚室で、区民の方向けに、介護予防などや体操など、また血管年齢測定といったことで、健康への意識を高めていただくことに時々お時間をいただいています。また、利用者様の高齢者の方で気になることがあれば、連携させていただいてお手伝いさせていただいています。

美術館 練馬区立美術館でございます。よろしくお願いいたします。

利用者 皆様声がちいさいので、マイクを用意して下さいと昨年言いましたが用意していないのでしょうか。

図書館 昨年より輪が小さいので、声が届くかと思いましたが、申し訳ございません。ただいま用意いたします。

4 懇談会

利用者 声が聞きにくいので、少人数でもマイクを用意していただければと思います。

利用者 今年は補聴器をつけているので、大丈夫だが、加齢により誰しも耳が遠くなるのでマイクを用意してほしいです。障害者差別解消法というものが昨年4月から施行となり、合理的配慮をしなければならないということで、対面朗読に福祉センターの部屋を使用したことがたびたびありました。私は中村橋に住んでいるが、春日町図書館へ行くように言われました。車いすにのって、西武線から大江戸線にのって行く、これは合理的配慮なのだろうか、と思いました。それで、苦情をいったならば、対面朗読室をもうひとつ作ってもらった。これは、言うべきことは言った方が良いと分かりました。

利用者 春日町図書館も、当初は別の場所で計画されていたのを、大江戸線の近くで便がいいので、現在の場所に作ってほしいということをこちらの方が区へ言って、今の場所に作られたのです。差別解消法というものが、実はなんの解消にもなっていない。差別推進法ではないかというなげきが聞こえてきている。どんどん不利なことになっている。とにかく障害者とか、高齢者とか差別するのではなく、困ったときには手を貸すというのが人間なのではないでしょうか。それから、間違っただけの手出し方をしないように、中学校などで、障害者への接し方を教えてほしいと思います。

利用者 対面朗読室の2つ目がこのお隣にできたのですよね。私たちがこの部屋で話をしながら作業をしていると、お隣に声が聞こえるのではないかと。気を付けているのですが、うるさいと思う時には注意してください。

利用者 第2対面朗読室は、それ以前の問題として、隣にトイレがあるので、その音が入ります。

利用者 そこの出入口に、自動販売機が付きましたが、しっかりついているのでしょうか、自販機が倒れる事はないですか。

図書館 床のコンクリートに固定してあるので、そういったことはないです。

利用者 地震の時のように、想定外の事もあるので倒れた場合、出入口が使えなくなるのではないですか。

利用者 私達も自販機ができて、喜んで使っていますが、買おうと思うと、自動ドアが開いてしまいます。ちょっと左にずらしていただくといいかなと思います。

図書館 安全面はしっかりしているので安心してください。場所についてはいろいろ検討した結果、現在の場所になりました。自動ドアが開いてしまうことも想定していましたが、検討の結果この場所になりましたので、ご了承ください。安全面はしっかり留めてあります。

利用者 練馬区にはみどりバスがあります。図書館を経由する便がほとんどないということに、なぜこんなに冷たい区なのかと思います。石神井図書館の近くのふるさと文化館の近くに住んでいるが、そこは順天堂行きのバスが通りますが、車いす対応ではないです。車いすの方をみどりバスにのせられるかといったら無理なので、地元に着した図書館という考えで行けば、みどりバスが経由して車いすが乗せられるバスでないことが残念です。街中を歩いていると、道路工事の現場で点字ブロックが外れた箇所があり、白杖の方が引っかかってしまうので、工事現場の人に言って、直してもらった経験があります。私の弟が障害者なので、健常者じゃない方もスムーズに来られる、そういう図書館がやさしい図書館ではないでしょうか。12館がバスの路線にどのくらい入っているか調べると確認できると思います。貫井は駅のそばですから、点字ブロックですぐ来られるかもしれませんが、町の中にぽつっとある稲荷山や、石神井、大泉などがあります。みなさんの意見を聞きながら、どういう図書館がいいのか、実践していただきたい。健常者や障害者みんなが集えるところになってほしいなと思います。

図書館 交通の便の利便性、とくにバスの利便性については、区全体でそのような配慮ができないかと、貫井図書館から練馬区につたえます。私見ですが、みどりバスを車いすの方が利用していたのを見たことがあります。

利用者 さきほど、ここの開場を待っている間、美術館への行き方を聞かれたので、エレベーターへの案内をわかりやすく大きくしてはどうですか。

美術館 目立つような形で、エレベーターの場所への案内を分かりやすくいたします。

利用者 名作と呼ばれる絵本以外にも、最近の作品で良いものもたくさんあるので、絵本の新しいものを多く入れてほしいです。また、話題の直木賞、芥川賞の本が冊数少ないので、早めに多く入れてほしいです。

図書館 練馬区では絵本も、新刊本も話題の本を多く入れていますが、予約が多く、早めに予約が入ってしまっており、図書館では目にとまらないということが

あるかと思います。カウンターにお問い合わせいただきましたら、本の状況をお調べいたします。絵本も最近のものもたくさん購入しています。貫井図書館は利用も多く、貸出になっている事も多いので、カウンターで状況を確認してください。

利用者 本の展示で、季節ごとにいろいろ紹介されていて、参考にさせてもらっています。自分だけではみつけれない本があったり、またその作家の作品をまたさがすということができるので助かっています。それから、貫井図書館さんは、できることはどんどんやってもらっているように感じます。廊下の椅子が増えているが、これもどなたかの声があったのだと思う。それからそこにケアカフェの案内もあって、細かい配慮をいただいていると思う。

利用者 絵本などは、一冊の本に対して、何冊ぐらいそろえるという蔵書数は決まっているのでしょうか。

図書館 蔵書数は、予約数に比例します。予約が100件以上になると各館で購入を検討するなど対応をしています。話題性のある本は要望が多いので冊数も多くなる。定番の絵本については各館に複数冊持っています。それぞれ、各館での1冊とか、また練馬区全体の冊数を見て購入しています。

利用者 ブックスタートの開催時には、絵本のおすすめの本を展示していて、帰りがけに見ている人も多く、児童書のコーナーで借りられることを伝えています。ブックスタートが図書館での第一歩ということで、たくさん借りられるということを知っていただき、絵本や児童書がある事を知ってほしいと思っています。そういった初めての方が迷っているようなことがあれば声をかけたりして頂ければと思っています。

図書館 ブックスタートも、よみきかせも、読書を広めるといったことを目標にしている事業です。もちろん、お貸出しだけでなく、ご予約できることもご案内したいので、こちらでもお声かけするように注意いたしますが、ぜひスタッフに遠慮なくお声かけいただきたいです。

利用者 美術館と図書館の建て直しがあると聞いていますが。

美術館 現在美術館が手狭で、老朽化しているので、大規模改修の検討がされています。どのように改修するのか、今年と来年で検討して、設計してから改修になるので、4、5年は先になります。現在検討会が開催されていますが、改

修の時期は決まっています。

利用者 練馬図書館でも近々改修されると聞いていまして、団体としての希望を聞かれましたが、こちらの美術館、図書館の改修について、要望を出す機会があるのでしょうか。

美術館 今は構想を練っている段階ですが、もちろん地域の方からの要望を聞く機会があると思います。どの時期になるかは分かっていませんが、緑地の改修の際も、みなさんのご意見を聞いたので、そういったことがあると思います。どの段階でそういったことがあるかは、まだ分からないです。

利用者 以前からずっと要望しているが、こちらの視聴覚室で講演会をする際に、お隣に保育の部屋が置けたのですが、今は美術館の資料室になっています。その部分の改善を要望します。

図書館 光が丘図書館に、改修についてそのような意見がありましたことを伝えます。

利用者 対面朗読室に、トイレの音が聞こえるなどの意見があったので、改修の際には、防音を講じるなどして頂けないでしょうか。

図書館 第2対面朗読室のことについては、急ごしらえで作りましたので、現在もいろいろ対策を講じておりますが、大規模改修の際は、配慮がなされると思います。そのような意見がある事を光が丘図書館に伝えます。

利用者 トイレの問題で、温風の乾燥機がついたのはありがたいですが、女性のトイレの奥の扉が内開きで狭いです。外側に空けば使いやすくなるので、提案したい。

図書館 トイレのドアの件と洋式化については、以前から美術館さんへお願いをしているところです。副館長よろしく願いいたします。

美術館 建物全体の管理は美術館が大家なので、トイレのドアと洋式化について、予算を見ながら今後検討したいと思います。

利用者 トイレの話が出たので、男性のトイレについて。床が濡れていることが多々あるので、気が付いた時にはカウンターに言っています。忙しいでしょうが、定期的に見に行ってほしい。スタッフの方にも気が付いたら対応するようにしてほしい。

図書館 1階のトイレは利用度が高いので、かなりの頻度で清掃していますが、今のお話を踏まえて対応を検討いたします。

図書館 それでは、定刻まであと少しとなりました。お話もひとわりまわりましたので、このあたりで終了としたいと思います。本日は貴重なお時間ありがとうございました。